

2018年漁業センサス試行調査

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅱ (団体経営体用)

平成29年7月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）」の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
---	---

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
市区町村名		漁業地区名		漁業集落名		

経営組織コード

- 3: 会社
- 4: 漁業協同組合
- 5: 漁業生産組合
- 6: 共同経営
- 7: その他

- ☐ 「会社」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～8 ページ
- ☐ 「共同経営」の方・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～7 ページ
- ☐ 「漁業協同組合」「漁業生産組合」「その他」・・・・・・ 2～7 ページ

- 1 法人化していますか。
該当に☑を入れてください。

法人でない ☐
法人である ☐

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

- 2 法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会社、共同経営体以外の方は次のページへ

会-I 事業所の概要

- 1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	本所・支所の区分			会社の種類	
	単独事業所	本所・本社	支所・支社	株式	その他
801	1	2	3	1	2

特例有限会社（旧制度の有限会社を含む。）は、株式会社に含みます。

- 2 7月1日現在の従業員数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業員数を記入してください。

（本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業員数ではなく、本所・本社のみ従業員数を記入してください。）

単位：人

802			
-----	--	--	--

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次のページへ

共-I 共同経営について

共同経営とは、2経営体（法人を含みます。）以上で、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、共同で漁業経営を行うことをいいます。

- 1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	現物出資のみ又は	10万円未満	10	30	50	100	200	500	1,000	3,000
			万円未満	万円未満	万円未満	万円未満	万円未満	万円未満	万円未満	万円未満
831	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

現物出資とは、漁船や漁網などの持ち寄りをいいます。

- 2 出資者の人数

出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。

単位：人

832			
-----	--	--	--

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次のページへ

I 漁業の従事者

1 漁業の従事者数

(1) 過去1年間に**漁業（陸上作業を含む。）に従事した実人数**を記入してください。

		男（人）	女（人）
経営者・役員等	203		
雇 用 者	201		
うち、 臨時労働者	202		

経営者・役員等とは、会社等における経営の責任者や役員、漁業生産組合や共同経営における構成員等のうち、過去1年間に漁業に従事した方をいいます。
漁業経営に出資のみを行い、実際の仕事に従事しなかった者は含めません。

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

2 7月1日現在の海上作業の従事者数

(1) 7月1日現在の**海上作業の従事者数**を記入してください。

(2) (1)の日本人のうち、過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日の間）に**30日以上海上作業を行った人数**を記入してください。

【日本人】 単位：人

日 本 人 計 (7月1日現在の海上作業従事者)	211	
うち、親が漁業に従事する人	212	
うち、過去1年以内に漁業を始めた人	213	
日 本 人 従 事 者 の 居 住 地		
同 市 町 村	214	
そ の 他 の 県 内	215	
県 外	216	

【外国人】 単位：人

外 国 人 計 (7月1日現在の海上作業従事者)	217	
-----------------------------	-----	--

親が漁業に従事する人で、過去1年間に海上作業に30日以上従事した人をいいます。

30日以上海上作業を行った人数		うち、居住地が同一市町村	
男（人）	女（人）	男（人）	女（人）
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

3 陸上作業の従事者数

過去1年間の**漁業の陸上作業について、最盛期の従事者数**を記入してください。

		単位：人
計	241	
男	242	
女	243	

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。

- ・新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- ・他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）
- ・普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった人（学生等）

II 漁船

1 過去1年間に漁業に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。(借りた漁船を含みます。)

	漁船非使用	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3	4

漁船非使用に○印を付けた場合は次のページへ進んでください。

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

漁業に使用した漁船のうち、平成29年7月1日現在で保有している隻数を記入してください。(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)

単位：隻

無動力漁船	302	
船外機付漁船	303	

1 台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付漁船としてください。

平成29年7月1日現在において所有、借入れに関係なく、漁業経営体が管理運営している漁船については、「保有している」に○印を付けてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船を含みます。)				平成29年7月1日現在で 保有している動力漁船			
総トン数 〔小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。〕				7月1日現在の保有の有無 保有している 保有していない		過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類
①				②		③	④
万 千 百 十 (トン) 小数点				いずれかに印		(日)	全国漁業種類番号を記入
401				1	2		1
402				1	2		1
403				1	2		1
404				1	2		1
405				1	2		1
406				1	2		1
407				1	2		1
408				1	2		1
409				1	2		1
410				1	2		1

借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。

5 ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

※ 出漁日数の数え方

- ・ 1 日のうちに2 回以上出漁しても1 日と数えます。
- ・ 2 夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

Ⅲ 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に行った、**すべての漁業種類**について○をつけてください。

《 網 漁 業 》

全国漁業種類番号

す
営
べ
て
に
○
印
の

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
船 び き 網		106	
ま ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
さんま棒受網		115	
大型定置網		116	
さけ定置網		117	
小型定置網		118	
その他の網漁業		119	

《 はえ縄・釣り ・その他漁業 》

全国漁業種類番号

す
営
べ
て
に
○
印
の

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
	遠洋かつお一本釣	124	
釣	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
ひき縄釣		130	
その他の釣		131	
小型捕鯨		132	
潜水器漁業		133	
採貝・採藻		134	
その他の漁業		135	

《 海 面 養 殖 》 (種苗養殖含む)

全国漁業種類番号

す
営
べ
て
に
○
印
の

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	とらふぐ養殖	140	
殖	くろまぐろ養殖	141	
	にじます養殖	142	
	その他の魚類養殖	143	
	ほたてがい養殖	144	
	かき類養殖	145	
その他の貝類養殖		146	
くるまえば養殖		147	
ほや類養殖		148	
その他の水産動物類養殖		149	
こんぶ類養殖		150	
わかめ類養殖		151	
のり類養殖		152	
その他の海藻類養殖		153	
真珠養殖		154	
真珠母貝養殖		155	

4ページの「3 動力漁船」
については、本ページの「全国
漁業種類番号」を使用してくだ
さい。

(2) 過去1年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額が最も多かったものと、2番目に多かったものを上記(1)の全国漁業種類番号 101～155 から選んで記入してください。

年間販売金額第1位の 漁業種類	161		年間販売金額第2位の 漁業種類	162	
--------------------	-----	--	--------------------	-----	--

2 海面養殖業

7月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の面積も含めます。

単位：㎡

		養殖場の施設面積				うち、使用している面積			
魚類養殖の合計	511								
うち、ぶり類	512								
うち、まだい	513								
うち、ひらめ	514								
うち、陸上水槽	515								
うち、とらふぐ	516								
うち、陸上水槽	517								
うち、くろまぐろ	518								
うち、にじます	519								

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記入してください。

単位：台

台数	521				
----	-----	--	--	--	--

単位：㎡

平均面積	522				
------	-----	--	--	--	--

イ はえ縄
幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

単位：m

523					
-----	--	--	--	--	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。

単位：台

台数	531				
----	-----	--	--	--	--

単位：㎡

平均面積	532				
------	-----	--	--	--	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

単位：m

533					
-----	--	--	--	--	--

ウ 地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

単位：㎡

534					
-----	--	--	--	--	--

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

単位：m

541					
-----	--	--	--	--	--

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含みません。面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

単位：㎡

551					
-----	--	--	--	--	--

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

単位：台

561					
-----	--	--	--	--	--

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

単位：台

571					
-----	--	--	--	--	--

3 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、自家漁業で行ったすべての漁業種類について○をつけてください。

地方選定漁業種類		に該 ○印	地方選定漁業種類		に該 ○印	地方選定漁業種類		に該 ○印
種 類 名	番 号		種 類 名	番 号		種 類 名	番 号	

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

販売金額		販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
うち、海面養殖															

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先を○で囲んでください。そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つを○で囲んでください。

		漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	業者流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	うち、 漁家レストラン うち、 販売店舗		その他
出荷先 (該当すべてに○印)	591	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
最も多い出荷先 (一つに○印)	592	1	2	3	4	5	6	7			10

「会社」以外の方の調査は以上で終わりですが、記入者名と連絡先を次ページに記入願います。

2 ページの本所・支所の区分が「本所・本社」及び「単独事業所」の場合に記入してください。

会 - II 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業者数

単位：人

計	803								
常時従業者	804								
その他	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

（株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。）

	100万円未満	100万円未満 100万円未満	200万円未満 200万円未満	500万円未満 500万円未満	1,000万円未満 1,000万円未満	3,000万円未満 3,000万円未満	5,000万円未満 5,000万円未満	1億円未満 1億円未満	10億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

- (1) 過去1年間に行った事業が漁業のみの場合は「2」、他の事業も行った場合は「1」を○で囲んでください。

	兼業	専業
807	1	2

「専業」で本所・本社の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。なお、漁業専業で単独事業所の場合はここで終わります。

- (2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25%未満	25～	50～	75%以上
808	1	2	3	4

- (3) 過去1年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。

事業所の数	販売金額が最も多かったものに○印
製造業	
水産加工業	811
その他	812
卸売・小売業、飲食業	813
サービス業	814
その他	
冷蔵倉庫業	815
その他	816

- (4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）

単位：工場

817	
-----	--

4 事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

単位：会社

漁業	821
製造業	
水産加工業	822
その他	823
卸売・小売業、飲食業	824
サービス業	825
その他	
冷蔵倉庫業	826
その他	827

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。